



2024 年 2 月 13 日

2023 年度決算レポート

2023 年度実績（対 2022 年）

- ・ 売上収益から当期利益まで、過去最高を達成*
- ・ 売上収益は 6.9%増の 2 兆 8,411 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 6.1%増の 2 兆 7,125 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 5.2%増の 7,657 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は対前年フラットの 7,280 億円
- ・ 営業利益は 2.9%増の 6,724 億円
- ・ 当期利益は 8.9%増の 4,823 億円
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 608 億円増の 4,437 億円
- ・ 年間一株当たり配当金は 194 円を予定（配当性向 71.4%）

*売上収益、調整後営業利益、継続事業における営業利益、継続事業における親会社の所有者に帰属する当期利益

2024 年度見込（対 2023 年）

- ・ 売上収益は 6.2%増の 3 兆 160 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 3.9%増の 2 兆 8,360 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は前年フラットの 7,280 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 5.5%減の 6,880 億円
- ・ 営業利益は 3.6%減の 6,480 億円
- ・ 当期利益は 5.7%減の 4,550 億円
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 837 億円減の 3,600 億円
- ・ 年間一株当たり配当予想は 194 円を予定（配当性向 75.7%）

財務数値の詳細については P.15「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“2023 年の JT グループの実績は、厳しい事業環境の中においても、すべての財務指標で過去最高を達成しました。全社利益管理指標である為替一定調整後営業利益は全事業で当初計画を上回り、対前年比で 5.2%の成長となりました。

このうち利益成長の牽引役であるたばこ事業においては、Combustibles のプライシング効果が着実に発現するとともに、力強いシェアモメンタムを維持しました。Ploom X の地理的拡大も順調に進捗しており、2023 年末の展開市場数は 13 市場に達しました。最大マーケットの日本では、HTS カテゴリ内シェアが 2023 年 12 月時点で 11.4%に到達しています。

以上の 2023 年度実績および当社の株主還元方針を踏まえ、一株当たり年間配当金は 194 円とする予定です。

「経営計画 2024」の計画期間である 2024 年から 2026 年においても、Combustibles については利益成長のドライバーとしてマーケットシェア及び売上収益の拡大を図るとともに、引き続き HTS に優先的に投資し、Ploom X のカテゴリ内シェア伸長及び地理的な拡大を進めてまいります。Ploom X 展開市場数は、2026 年末までに 40 以上に到達する見通しです。

2024 年における全社為替一定調整後営業利益については 2023 年と同水準を見込みますが、3 か年の経営計画期間中は年平均 mid single digit 成長を見込んでいます。中長期では、年平均 mid to high single digit 成長を追求する方針に変更はありません。株主還元についても、配当性向75%を目安とする還元方針に則って強化してまいります。

加えて今般、JT Group Purpose*に基づき、社会とその中に存在する JT Group の事業が持続可能であるために、JT Group Materiality を踏まえてさらに戦略を進化させるべく、新たに 25 の Sustainability Targets を設定しました。また、JT Group Purpose の具現化に向けたコーポレート R&D の取り組みである D-LAB についても、「心の豊かさ」を中心概念とした研究や未来の事業シーズの探索・創出を長期的視点で継続してまいります。

事業環境の不確実性・複雑性が高まる中、今後とも経営理念である 4S モデル**に則り適切な経営判断を下し、グループ一丸となって経営計画の達成に向けて進んでいくとともに、JT Group Purpose・各事業における Purpose の実現に向けた取り組みを継続してまいります。”

* 自然・社会・個人の様々なスケールで非連続な変化が起こり、事業環境の不確実性・複雑性がますます高まっている状況下において、JT グループが持続的な存在であるための方向性を明確にするものとして、JT Group Purpose「心の豊かさをもっと。」を策定いたしました。時代や人により、多様で、変化していく「心の豊かさ」の領域を、今後も社会から任せ、貢献できる存在であり続けるため、絶えず進化してまいります。

** JT グループの経営理念である「4S モデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の 4 者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4 者の満足度を高めていく」という考え方です。私たちは、「4S モデル」の追求を通じ、中長期に亘る持続的な利益成長の実現を目指しています。この「4S モデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4 者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しております。

投資家説明会

投資家説明会は、2024年2月14日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>

超インフレ会計の適用及びこれに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2022 年度、2023 年度実績及び 2024 年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、特定のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。なお、2023 年度第 4 四半期時点では、エチオピア、イラン、スーダン、トルコが含まれています。

経営理念	<p>4Sモデルの追求：</p> <p>お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく</p>	
JT Group Purpose	<p>心の豊かさを、もっと。</p> <p>私たちJTグループは、これまでずっと、心豊かに生きるための「とき」と向き合ってきました。</p> <p>科学やテクノロジーの進化、価値観の多様化。</p> <p>どんなに時代が変わっても、私たちは、今ここにある何気ない瞬間にも喜びを見つけられる、心の豊かさを大切にしたいと思っています。</p> <p>ありのままの自分を認められる「とき」 大切なひとと喜びを共有する「とき」 それぞれを認め合って、高め合って過ごす「とき」</p> <p>そんな素晴らしい「とき」の積み重ねが、素晴らしい毎日をつくり、素晴らしい人生をつくる。</p> <p>そしてきっと、社会、世界、未来までも、よりよくしていく。</p> <p>JTグループは、提供してきた心の豊かさを、次のステージへ。</p> <p>より多くのお客様やパートナーと、さまざまな事業や取り組みを通じて、社会に心の豊かさを育んでいきます。</p> <p>「今日もよい一日だった」と感じられる心豊かな社会のために、私たちができることのすべてを。</p>	
中長期成長率目標	<p>全社調整後営業利益 年平均成長率（為替一定）</p> <p>Mid to high single digit</p>	
経営資源配分方針	<p>4Sモデル / JT Group Purposeに基づく経営資源配分</p> <ul style="list-style-type: none">● 中長期に亘る持続的な利益成長に繋がる事業投資¹を最優先● 事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視 <p>株主還元方針</p> <ul style="list-style-type: none">● 強固な財務基盤²を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより株主還元の向上を目指す● 資本市場における競争力ある水準³として、配当性向75%を目安⁴とする● 自己株式の取得は当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を踏まえて実施の是非を検討 <p><small>1 たばこ事業の成長投資を最重要視し、お客様・社会への新たな価値・満足の継続的な提供を通じて、質の高いトップライン成長を実現することで、為替一定調整後営業利益の成長を目指す</small></p> <p><small>2 経済危機等に備えた堅牢性及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保</small></p> <p><small>3 ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG（Fast Moving Consumer Goods）企業群の還元動向をモニタリング</small></p> <p><small>4 ±5%程度の範囲内で判断</small></p>	

2023 年度 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2023 年 10-12 月	2022 年 10-12 月	増減率	2023 年度	2022 年度	増減率
売上収益	6,841	6,493	+5.4%	28,411	26,578	+6.9%
調整後営業利益	636	900	-29.2%	7,280	7,278	+0.0%
営業利益	406	742	-45.4%	6,724	6,536	+2.9%
四半期/当期利益	403	389	+3.5%	4,823	4,427	+8.9%
フリー・キャッシュ・フロー	-	-	-	4,437	3,829	-
為替一定ベース core revenue	6,634	6,210	+6.8%	27,125	25,557	+6.1%
為替一定ベース 調整後営業利益	902	900	+0.3%	7,657	7,278	+5.2%

2023 年 10-12 月

- 売上収益**
 売上収益については、たばこ事業及び医薬事業での増収により、前年同期比 5.4%増の 6,841 億円となりました。為替一定ベースの core revenue については、前年同期比 6.8%増の 6,634 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 財務報告ベースの調整後営業利益については、医薬事業及び加工食品事業における増益があったものの、ネガティブな為替影響を主因としたたばこ事業における減益により、前年同期比 29.2%減の 636 億円となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 0.3%増の 902 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、調整後営業利益の減少に加えて、調整項目における費用の増加により、前年同期比 45.4%減の 406 億円となりました。
- 四半期利益**
 四半期利益については、金融損益の改善及び法人税負担の減少が、営業利益の減少を上回り、前年同期比 3.5%増の 403 億円となりました。

2023 年度

- 売上収益**
 売上収益については、たばこ事業及び医薬事業での増収により、前年度比 6.9%増の 2 兆 8,411 億円となりました。為替一定ベースの core revenue については、前年度比 6.1%増の 2 兆 7,125 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 財務報告ベースの調整後営業利益については、全ての事業において増益があったものの、ネガティブな為替影響により、前年度同水準の 7,280 億円となりました。為替一定ベースでは、前年度比 5.2%増の 7,657 億円となりました。

- **営業利益**
営業利益については、調整項目における不動産売却益の増加及び商標権償却費の減少影響により、前年度比 2.9%増の 6,724 億円となりました。
- **当期利益**
当期利益については、営業利益の増加に加えて、金融損益の改善及び法人税負担の減少影響により、前年度比 8.9%増の 4,823 億円となりました。
- **フリー・キャッシュ・フロー**
フリー・キャッシュ・フローについては、2022 年に計上した日本におけるたばこ事業運営体制強化施策にかかる費用の剥落及び支払法人税の減少が、運転資本の悪化を上回り、前年度比 608 億円増の 4,437 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2023 年 10-12 月	2022 年 10-12 月	増減率	2023 年度	2022 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,873	5,546	+5.9% (+7.4%)*	24,786	23,152	+7.1% (+6.4%)*
調整後営業利益	729	1,005	-27.5% (-1.0%)*	7,498	7,540	-0.6% (+4.4%)*

参考 (億本、億円)

総販売数量	1,295	1,253	+3.4%	5,401	5,273	+2.4%
Combustibles 販売数量	1,271	1,234	+3.1%	5,313	5,194	+2.3%
RRP 販売数量	24	19	+23.2%	88	79	+11.8%
RRP 関連売上収益	195	166	+17.8%	816	754	+8.3%

*為替一定ベース

2023 年 10-12 月

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、Western Europe 及び EMA を中心としたポジティブな単価差/商品構成影響 356 億円や、Asia 及び EMA を中心としたポジティブな数量差影響 55 億円が、ネガティブな為替影響を上回り、前年同期比 5.9%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 7.4%増加しています。RRP 関連売上収益は、Ploom X の伸長により RRP 販売数量が二桁パーセント成長したことで、前年同期比 17.8%の増加となりました。

調整後営業利益は、主にネガティブな為替影響により、前年同期比で 27.5%減少しました。為替一定ベースでは、自社たばこ製品売上収益の増加があったものの、インフレによるコストの増加及び Ploom X の地理的拡大を含む投資の増加により、前年同期比1.0%減少しています。

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、EMA における著しい伸長及び Asia における底堅い販売数量が、Western Europe における総需要減少影響を上回り、前年同期比 3.4%の増加となりました。Combustibles 販売数量は、継続的な市場シェア伸張及び Winston、Camel 並びに LD の伸長（それぞれ+7.9%、+15.3%、+2.6%）により、前年同期比3.1%の増加となりました。RRP 販売数量は、日本における継続的なシェア伸張や欧州における Ploom X の新規投入により、前年同期比 23.2%の増加となりました。

市場シェアは、イタリア・フィリピン・ロシア・台湾といった主要市場を中心に伸張しています。

2023 年度

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、Western Europe 及び EMA を中心としたポジティブな単価差/商品構成影響 1,443 億円、Asia 及び EMA を中心としたポジティブな数量差影響 28 億円並びにポジティブな為替影響により、前年度比 7.1%増加しています。為替一定ベースでは、前年度比 6.4%増加しています。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の伸長により、前年度比8.3%増加しています。

調整後営業利益は、ネガティブな為替影響により、前年度比 0.6%減少しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響が、ネガティブな数量差影響、インフレによるコストの増加及び Ploom

X の地理的拡大を含む投資の増加を上回り、前年度比4.4%増加しています。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、EMA における堅実な伸長、Asia における底堅い販売数量、継続的なシェア伸張及び一部市場における堅調な総需要トレンドにより、英国を中心とした Western Europe における総需要減少影響を上回り、前年度比 2.4%の増加となりました。Combustibles 販売数量は、Winston 及び Camel の伸長（それぞれ +8.1%、+17.5%）により、前年度比 2.3%の増加となりました。RRP 販売数量は、一時的な要因による不利な比較があったものの、前年度比 11.8%の増加となりました。一時的な要因を除いた場合、日本において HTS 販売数量が 47.8%成長したことや欧州における Ploom X の新規投入により、RRP 販売数量は前年度と比べて 20.5%の増加となりました。Ploom X は現在、チェコ・ギリシャ・ハンガリー・イタリア・日本・カザフスタン・リトアニア・ポーランド・ポルトガル・ルーマニア・スロベニア・スイス・英国で展開しています。市場シェアは、イタリア・日本・フィリピン・ロシア・台湾といった主要市場を中心に伸張しています。

たばこ事業 クラスター別 実績

Asia

(億円)	2023 年度	2022 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	7,969	8,049	-1.0% (-2.1%)*
調整後営業利益	2,458	2,675	-8.1% (-6.7%)*
参考 (億本)			
総販売数量	1,278	1,274	+0.3%

*為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、主に日本で発現したポジティブな数量差影響及びポジティブな為替影響があったものの、主に日本におけるネガティブな単価差/商品構成影響により、前年度比 1.0%減少しました。為替一定ベースでは、前年度比 2.1%減少しました。調整後営業利益は、コストの減少があったものの、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度比 8.1%減少しました。為替一定ベースでは、前年度比 6.7%減少しました。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にバングラデシュ・インドネシア・日本における Camel の伸長により、それぞれ前年度比 0.3%、6.3%増加しました。市場シェアは、バングラデシュ・カンボジア・日本・マレーシア・フィリピン・シンガポール・韓国・台湾において伸張しました。

市場別実績¹

日本²における総販売数量は、Combustibles 及び RRP のカテゴリ内シェア伸張により、前年度比 1.3%増加しました。総需要は、RRP カテゴリの伸長（+12.1%）により、前年度比 0.5%増加しました。市場シェアは、前年度比 0.3ppt 増の 42.8%になりました。Combustibles 販売数量は、カテゴリ内シェア伸張があったものの、Combustibles 総需要の減少により、前年度比 1.0%の減少となりました。Combustibles 総需要は、前年度比 5.5%減少したものと推定しています。

Combustibles カテゴリ内シェアは、Camel Craft の牽引により、前年度比 2.8ppt 増の 60.9%になりました。RRP 販売数量は、前年度比 23.2%増加しました。RRP カテゴリ内シェアは、前年度比 1.2ppt 増の 13.1%になりました。Ploom X の販売数量は、前年度比47.8%増加しました。HTS カテゴリ内シェアは、Ploom X のシェアが引き続き伸張り、前年度比 2.3 ppt 増の 10.2%になりました。なお、RRP 市場占有率(出荷ベース)は、38.0%と推計しています。

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響が発現したものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年度比で減少しました。

フィリピンにおける総販売数量は、増税に伴う値上げにより総需要が減少したことにより、前年度比 4.7%減少しました。GFB 販売数量は、Camel の伸長により、前年度比 35.5%増加しました。市場シェアは、Camel の伸張により、前年度比 3.9ppt 増の 42.4%と推定しています。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年度と比べ増加しました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、渡航制限の段階的な緩和に伴う総需要減少により、前年度比それぞれ 3.4%、3.9%減少しました。市場シェアは、Winston 及び LD の伸張により、前年度比 1.4ppt 増の 50.3%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度比で減少しました。

Western Europe

(億円)	2023 年度	2022 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	6,033	5,388	+12.0% (+2.5%)*
調整後営業利益	2,314	2,193	+5.5% (-0.4%)*

参考 (億本)

総販売数量	1,038	1,089	-4.7%
--------------	-------	-------	-------

*為替一定ベース

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、主にフランス・ドイツ・スペイン・英国で発現したポジティブな単価差/商品構成影響及びポジティブな為替影響が、主に英国におけるネガティブな数量差影響を上回り、前年度比 12.0%増加しました。為替一定ベースでは、前年度比 2.5%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響が、Ploom X の地理的拡大を含むコストの増加を上回り、前年度比 5.5%増加しました。為替一定ベースでは、前年度比 0.4%減少しました。

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、複数の市場において市場シェアが引き続き伸張したものの、英国を中心とした多くの市場における総需要の減少により、それぞれ前年度比 4.7%、1.4%減少しました。市場シェアは、ベルギー・フランス・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・ポルトガル・スイスにおいて伸張しました。

- **市場別実績¹**

イタリアにおける総販売数量は、市場シェア伸張及び Ploom X 販売開始の貢献により、前年度比 1.6%増加しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年度比 1.5%増加しました。GFB 販売数量は、Winston の伸張により、前年度比 1.0%増加しました。市場シェアは、前年度比 0.2ppt 増の 23.2%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響が発現したものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年度比で減少しました。

スペインにおける総販売数量は、渡航制限緩和後の一時的な総需要増加トレンドの収束に伴う総需要減少及び市場シェア減少により、前年度比 5.0%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年度比 3.1%の減少となりました。GFB 販売数量は、前年度比 5.4%減少しました。市場シェアは、前年度比 0.1ppt 減の 27.9%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響が、ネガティブな数量差影響を上回り、前年度比で増加しました。

英国における総販売数量は、増税に伴う値上げ及び上半期における渡航制限の緩和等により、総需要が大幅に減少したことで、前年度比 18.7%減少しました。市場シェアは、Benson & Hedges が前年度比で 0.8ppt 増加したものの、前年度比 0.9ppt 減の 43.7%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響が発現したものの、ネガティブな数量差影響により、前年度比で減少しました。

EMA

(億円)	2023 年度	2022 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	10,785	9,715	+11.0% (+15.4%)*
調整後営業利益	2,725	2,671	+2.0% (+19.6%)*

参考 (億本)

総販売数量	3,085	2,909	+6.0%
--------------	-------	-------	-------

*為替一定ベース

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、エジプト・Global Travel Retail・イラン・モロッコ・トルコを中心に発現したポジティブな数量差影響、及び主にカナダ・ポーランド・ロシアにおけるポジティブな単価差/商品構成影響が、ネガティブな為替影響を上回り、前年度比 11.0%増加しました。為替一定ベースでは、前年度比 15.4%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加がサプライチェーン関連コストの増加及びネガティブな為替影響を上回り、前年度比 2.0%増加しました。為替一定ベースでは、前年度比 19.6%増加しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にアゼルバイジャン・エジプト・イラン・モロッコ・トルコ、および引き続き回復傾向である Global Travel Retail における増加により、それぞれ前年度比 6.0%、11.2%増加しました。市場シェアは、アルジェリア・アゼルバイジャン・ブラジル・カナダ・チェコ・イラン・ヨルダン・レバノン・メキシコ・ロシア・サウジアラビア・南アフリカ・タンザニア・米国において伸張しました。

- **市場別実績¹**

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の増加をアウトパフォームし、それぞれ前年度比 4.6%、18.0%増加しました。市場シェアは、Combustibles における Camel の伸張により、27.4%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度と比べて増加しました。

ロシア²における総販売数量は、前年度比 1.8%減少した総需要³をアウトパフォームし、前年度比 0.7%増加しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年度比 1.5%の増加となりました。GFB 販売数量は、市場シェア伸張により、前年度比で 7.0%増加しました。市場シェアは、Winston、Camel、LD 及び Sobranie の伸張により、前年度比で 0.8ppt 増の 37.4%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度比で増加しました。

トルコにおける総販売数量は、消費活性化及び不法取引減少に伴う総需要の増加により、前年度比 12.8%増加しました。GFB 販売数量は、Winston、Camel 及び LD の伸長により、前年度比 13.2%増加しました。市場シェアは、Winston の伸張があったものの、前年度比 0.9ppt 減の 26.9%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度比で増加しました。

¹ 出典：市場シェアは、JT グループ内部データ等。特に言及がない限り、市場シェアは 2023 年 1 月から 12 月までの平均ベース。12 カ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。

² 2023 年度より、全ての市場において、市場シェアは Combustibles 及び HTP (Heated tobacco products) の総需要を基に算出 (フィリピン・台湾の市場シェアは combustibles のみ、トルコの市場シェアは RMC のみ。日本及びロシアについては変更なし)。

³ 出典：JT グループ内部データ。RMC 及び HTS を対象とする 2023 年 1-12 月期の対前年比較

医薬事業

(億円)	2023 年 10-12 月	2022 年 10-12 月	増減	2023 年度	2022 年度	増減
売上収益	251	232	+18	949	829	+120
調整後営業利益	43	39	+4	174	111	+63

2023 年 10-12 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、主に当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、前年同期比で増収となりました。
調整後営業利益については、売上収益の増収が研究開発費の増加を上回り、前年同期比で増益となりました。

2023 年度

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、導出品のライセンス契約に係る一時金収入、及び当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により前年度比で増収となりました。
調整後営業利益は、23 年 10-12 月期と同様の要因により、前年度比で増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2023 年 10-12 月	2022 年 10-12 月	増減	2023 年度	2022 年度	増減
売上収益	424	427	-4	1,539	1,555	-17
調整後営業利益	22	17	+5	68	35	+33

2023 年 10-12 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温事業において、価格改定に加え、外食需要の回復による業務用製品のトップライン伸長があるものの、ベーカリー事業の譲渡に伴う売上収益の剥落により、前年同期と概ね同水準となりました。
調整後営業利益は、冷食・常温事業における価格改定効果や業務用製品のトップライン伸長が原材料費等の高騰を上回り、前年同期比で増益となりました。

2023 年度

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、23 年 10-12 月期と同様の要因により、前年度と概ね同水準となりました。
調整後営業利益は、23 年 10-12 月期と同様の要因により、前年度比で増益となりました。

2024 年度 全社及び事業別見込

全社見込

(億円)	2024 年見込	2023 年実績	増減率
売上収益	30,160	28,411	+6.2%
調整後営業利益	6,880	7,280	-5.5%
営業利益	6,480	6,724	-3.6%
当期利益	4,550	4,823	-5.7%
フリー・キャッシュ・フロー	3,600	4,437	-
為替一定ベース core revenue	28,360	27,288	+3.9%
為替一定ベース 調整後営業利益	7,280	7,280	-0.0%
基本的 EPS (円) *	256.29	271.69	-5.7%

*基本的 EPS は当期利益を基に算定

- 売上収益**
 為替一定ベースの core revenue については、たばこ事業及び加工食品事業の増収が医薬事業の減収を上回り、前年度比 3.9%増の 2 兆 8,360 億円を見込んでいます。
 財務報告ベースの売上収益については、前年度比 6.2%増の 3 兆 160 億円を見込んでいます。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業の増益があるものの、医薬事業における減益により、前年度同水準の 7,280 億円を見込んでいます。
 財務報告ベースでは、ネガティブな為替影響により、前年度比 5.5%減の 6,880 億円を見込んでいます。
- 営業利益及び当期利益**
 営業利益については、商標権償却費の減少があるものの、調整後営業利益の減益及び不動産売却益の減少により、前年度比 3.6%減の 6,480 億円を見込んでいます。
 当期利益については、営業利益の減益により、前年度比 5.7%減の 4,550 億円を見込んでいます。
- フリー・キャッシュ・フロー**
 フリー・キャッシュ・フローについては、調整後営業利益の減益及び資本的支出の増加等により、前年度比 837 億円減の 3,600 億円を見込んでいます。

事業別見込

たばこ事業

(億円)	2024 年見込	2023 年実績	増減率
自社たばこ製品売上収益	26,350	24,786	+6.3% (+4.5%)*
調整後営業利益	7,250	7,498	-3.3% (+2.0%)*

*為替一定ベース

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、Combustibles におけるポジティブな単価差/商品構成影響の継続的な発現及び RRP 関連売上収益の増加が、販売数量の減少を上回り、前年度と比べて 4.5%の増加を見込んでいます。財務報告ベースでは、前年度と比べて 6.3%の増収を見込んでいます。

為替一定ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加が、Ploom X の地理的拡大に向けた投資及びサプライチェーン関連コストの増加を上回り、前年度と比べて 2.0%の増加を見込んでいます。財務報告ベースでは、ネガティブな為替影響により、前年度比 3.3%の減益を見込んでいます。

- **販売数量**

総販売数量は、Combustibles における継続的なシェアの伸張及び RRP 販売数量の増加を見込むものの、Combustibles の総需要減少により、前年度比 0.5%～1.0%程度の減少を見込んでいます。

医薬事業

(億円)	2024 年見込	2023 年実績	増減
売上収益	885	949	-64
調整後営業利益	40	174	-134

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社連結子会社の鳥居薬品の増収を見込むものの、2023 年度に発生した導出品に係る一時金収入の剥落、及び海外ロイヤリティ収入の減少により、前年度比で 64 億円の減収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の減収に加え、研究開発費の増加を見込むことから、前年度比で 134 億円の減益を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2024 年見込	2023 年実績	増減
売上収益	1,560	1,539	+21
調整後営業利益	70	68	+2

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、外食市況の更なる回復や価格改定に加え、冷食・常温事業における家庭用製品の増販施策及び調味料事業における海外販売の伸長を織り込み、前年度比で 21 億円の増収を見込んでいます。

調整後営業利益は、トップライン伸長が、当年度も見込まれる原材料/物流費等の高騰を上回り、前年度比で 2 億円の増益を見込んでいます。

データシート

2023年度 実績

1. 全社業績ハイライト

(億円)

	2023 累計	2022 累計	増減	増減率
売上収益	28,411	26,578	+1,832	+6.9%
営業利益	6,724	6,536	+188	+2.9%
調整後営業利益	7,280	7,278	+2	+0.0%
税引前利益	6,216	5,935	+282	+4.7%
当期利益	4,823	4,427	+396	+8.9%
一株当たり配当金(円)	194	188	+6	+3.2%
基本的EPS* (円)	271.69	249.45	+22.24	+8.9%
ROE*	13.1%	13.9%	-0.9ppt	

*当期利益を基に算定

(参考)

(億円)

	2023 累計	2022 累計	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	27,125	25,557	+1,569	+6.1%
為替一定ベース調整後営業利益	7,657	7,278	+379	+5.2%

2. 事業セグメント別実績

(億円)

	2023 累計	2022 累計	増減	増減率
全社 売上収益	28,411	26,578	+1,832	+6.9%
たばこ事業	25,909	24,174	+1,735	+7.2%
自社たばこ製品売上収益	24,786	23,152	+1,634	+7.1%
医薬事業	949	829	+120	+14.4%
加工食品事業	1,539	1,555	-17	-1.1%
その他	14	20	-5	-27.2%
全社 営業利益	6,724	6,536	+188	+2.9%
たばこ事業	6,771	6,794	-23	-0.3%
医薬事業	174	111	+63	+56.2%
加工食品事業	77	42	+35	+84.4%
その他/消去	-298	-411	+113	-
調整合計	-556	-742	+186	
たばこ事業	-727	-746	+20	
医薬事業	-	-	-	
加工食品事業	8	7	+2	
その他/消去	162	-2	+165	
全社 調整後営業利益	7,280	7,278	+2	+0.0%
たばこ事業	7,498	7,540	-42	-0.6%
医薬事業	174	111	+63	+56.2%
加工食品事業	68	35	+33	+95.2%
その他/消去	-460	-409	-51	-

2023年度 実績

3. 事業セグメント別調整後営業利益（調整表）

（億円）

	2023 累計	2022 累計	増減	増減率
全社 営業利益	6,724	6,536	+188	+2.9%
調整合計	-556	-742	+186	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-588	-714	+126	
調整項目(収益)	187	159	+28	
調整項目(費用)	-154	-187	+33	
全社 調整後営業利益	7,280	7,278	+2	+0.0%
たばこ 営業利益	6,771	6,794	-23	-0.3%
調整合計	-727	-746	+20	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-588	-714	+126	
調整項目(収益)	4	64	-59	
調整項目(費用)	-143	-96	-47	
たばこ 調整後営業利益	7,498	7,540	-42	-0.6%
医薬 営業利益	174	111	+63	+56.2%
調整合計	-	-	-	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-	-	-	
調整項目(費用)	-	-	-	
医薬 調整後営業利益	174	111	+63	+56.2%
加工食品 営業利益	77	42	+35	+84.4%
調整合計	8	7	+2	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	9	24	-15	
調整項目(費用)	-0	-17	+17	
加工食品 調整後営業利益	68	35	+33	+95.2%
その他/消去 営業利益	-298	-411	+113	-
調整合計	162	-2	+165	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	173	71	+102	
調整項目(費用)	-11	-74	+62	
その他/消去 調整後営業利益	-460	-409	-51	-

4. 減価償却費及び償却費*

（億円）

	2023 累計	2022 累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	1,556	1,769	-213
たばこ事業	1,440	1,638	-198
医薬事業	40	48	-8
加工食品事業	65	66	-1
その他/消去	11	18	-6

*リース取引に係る減価償却費を除く

5. 連結財政状態データ

（億円）

	2023年12月末	2022年12月末	増減
資産合計	72,821	65,481	+7,340
資本合計	39,125	36,168	+2,957
親会社の所有者に帰属する持分	38,302	35,404	+2,897
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	2,157.46	1,994.78	+162.68

6. 手元流動性及び有利子負債

（億円）

	2023年12月末	2022年12月末	増減
手元流動性	10,809	8,804	+2,006
有利子負債	11,423	9,583	+1,839

2023年度 実績

7. 連結キャッシュフロー・データ

(億円)

	2023 累計	2022 累計	増減
営業キャッシュフロー	5,670	4,838	+832
投資キャッシュフロー	-1,261	-1,018	-243
財務キャッシュフロー	-2,705	-3,062	+357
現金及び現金同等物の期首残高	8,669	7,217	+1,452
現金及び現金同等物に係る換算差額等	29	694	-664
現金及び現金同等物の期末残高	10,402	8,669	+1,733
FCF	4,437	3,829	+608

8. 資本的支出

(億円)

	2023 累計	2022 累計	増減
資本的支出	1,254	1,010	+243
たばこ事業	1,051	838	+213
医薬事業	73	24	+49
加工食品事業	58	82	-23
その他/消去	71	66	+4

9. 為替

	2023 累計	2022 累計	増減	増減率
100円/USD	0.71	0.76	-0.05	6.9%高
100円/RUB	60.44	53.06	+7.38	12.2%安
100円/GBP	0.57	0.62	-0.04	7.7%高
100円/EUR	0.66	0.73	-0.07	10.0%高
100円/CHF	0.64	0.73	-0.09	13.8%高
100円/TWD	22.18	22.72	-0.53	2.4%高
100円/TRY*	20.75	14.08	+6.66	32.1%安
100円/PHP	39.63	41.55	-1.93	4.9%高

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年12月末日及び2022年12月末日レートを適用。

10. 医薬事業

(億円)

	2023 累計	2022 累計	増減	増減率
研究開発費	322	298	+25	+8.3%

2023年度 実績

11. P/L 内訳表

(億円)

	2023 累計	2022 累計	増減	増減率
売上収益	28,411	26,578	+1,832	+6.9%
売上原価	12,260	10,910	+1,350	+12.4%
売上総利益	16,151	15,668	+483	+3.1%
その他の営業収益	300	203	+98	+48.2%
持分法による投資利益	83	80	+3	+4.0%
販売費及び一般管理費等	9,811	9,415	+395	+4.2%
広告宣伝費	393	289	+104	+35.9%
販売促進費	1,409	1,252	+156	+12.5%
委託手数料	793	792	+1	+0.1%
従業員給付費用	3,654	3,387	+267	+7.9%
研究開発費	751	708	+43	+6.1%
減価償却費及び償却費	1,049	1,143	-94	-8.2%
減損損失	137	275	-138	-50.2%
有形固定資産、無形資産及び投資不動産の除売却損	43	74	-30	-41.0%
その他	1,581	1,495	+86	+5.8%
営業利益	6,724	6,536	+188	+2.9%
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-588	-714	+126	
調整項目(収益)	187	159	+28	
調整項目(費用)	-154	-187	+33	
調整後営業利益	7,280	7,278	+2	+0.0%
金融収益	444	311	+133	+42.6%
受取配当金	8	15	-7	-45.1%
受取利息	420	250	+170	+67.8%
正味貨幣持高に係る利得	-	-	-	-
その他	16	46	-30	-65.4%
金融費用	952	913	+40	+4.3%
支払利息	285	270	+15	+5.5%
従業員給付費用	52	32	+20	+61.7%
為替差損及び正味貨幣持高に係る損失	519	351	+168	+47.9%
その他	96	260	-163	-62.9%
税引前当期利益	6,216	5,935	+282	+4.7%
法人所得税費用	1,363	1,493	-130	-8.7%
当期利益	4,853	4,442	+411	+9.3%
親会社の所有者	4,823	4,427	+396	+8.9%
非支配持分	30	15	+16	+107.3%

2023年度 実績

12. B/S 内訳表

(億円)

	2023年12月末	2022年12月末	増減
流動資産	32,596	27,236	+5,360
現金及び現金同等物	10,402	8,669	+1,733
営業債権及びその他の債権	5,353	4,772	+581
棚卸資産	8,326	6,919	+1,407
その他の金融資産※ ¹	586	377	+210
その他の流動資産	7,899	6,492	+1,407
売却目的で保有する非流動資産	29	7	+22
非流動資産	40,225	38,245	+1,980
有形固定資産	8,215	7,760	+455
のれん※ ²	26,164	24,461	+1,704
無形資産※ ³	2,070	2,464	-395
投資不動産	93	95	-2
退職給付に係る資産	659	578	+81
持分法で会計処理されている投資	567	569	-2
その他の金融資産※ ¹	1,563	1,404	+159
繰延税金資産	894	914	-21
資産合計	72,821	65,481	+7,340

(億円)

	2023年12月末	2022年12月末	増減
流動負債	19,273	15,627	+3,646
営業債務及びその他の債務	5,928	5,401	+527
社債及び借入金※ ⁴	2,333	1,373	+960
未払法人所得税等	296	375	-78
その他の金融負債※ ⁴	445	401	+44
引当金	186	266	-80
その他の流動負債※ ⁵	10,084	7,811	+2,273
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	-	0	-0
非流動負債	14,423	13,687	+737
社債及び借入金※ ⁴	9,089	8,210	+879
その他の金融負債※ ⁴	407	417	-11
退職給付に係る負債	2,794	2,441	+353
引当金	455	265	+190
その他の非流動負債※ ⁵	1,272	1,952	-681
繰延税金負債	406	401	+5
負債合計	33,696	29,313	+4,383
資本	39,125	36,168	+2,957
資本金	1,000	1,000	-
資本剰余金	7,365	7,364	+1
自己株式	-4,892	-4,902	+10
その他の資本の構成要素	2,905	1,043	+1,862
利益剰余金	31,923	30,899	+1,024
非支配持分	823	763	+60
負債及び資本合計	72,821	65,481	+7,340

※1 : その他の金融資産（流動・非流動の計）

その他の金融資産	2,149	1,780	+369
デリバティブ資産	192	243	-51
株式	343	313	+29
債券	701	382	+319
定期預金	-	-	-
その他	978	905	+73
貸倒引当金	-64	-62	-2

※2 : のれん

たばこ資金生成単位	25,911	24,207	+1,704
加工食品資金生成単位	254	254	-

※3 : 無形資産

たばこ事業 商標権	1,318	1,791	-474
-----------	-------	-------	------

※4 : 社債及び借入金（その他の金融負債含む）（流動・非流動の計）

社債及び借入金	12,274	10,401	+1,873
デリバティブ負債	251	210	+41
短期借入金	2,090	637	+1,452
コマーシャル・ペーパー	-	-	-
1年内返済予定の長期借入金	244	136	+108
1年内償還予定の社債	-	600	-600
長期借入金	1,230	1,437	-206
社債	7,859	6,773	+1,086
その他	601	608	-7

※5 : その他の負債（流動・非流動の計）

その他の負債	11,356	9,763	+1,592
未払たばこ税	4,547	3,398	+1,149
未払たばこ税特別税	85	88	-3
未払地方たばこ税	1,786	1,846	-60
未払消費税等	1,681	1,376	+305
従業員賞与	833	748	+85
従業員有給休暇債務	210	199	+12
その他	2,213	2,109	+104

2024年度 見込
(2024/2/13公表)

1. 全社業績ハイライト

(億円)

	2024 見込	2023 実績	増減	増減率
売上収益	30,160	28,411	+1,749	+6.2%
営業利益	6,480	6,724	-244	-3.6%
調整後営業利益	6,880	7,280	-400	-5.5%
当期利益	4,550	4,823	-273	-5.7%

(参考)

(億円)

	2024 見込	2023 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	28,360	27,288	+1,072	+3.9%
為替一定ベース調整後営業利益	7,280	7,280	-0	-0.0%

2. EPS・配当金・ROE

(円)

	2024 見込	2023 実績	増減	増減率
基本的EPS*	256.29	271.69	-15.40	-5.7%
1株当たり配当金	194	194	-	-
ROE*	11.6%	13.1%	-1.5ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別見込

(億円)

	2024 見込	2023 実績	増減	増減率
全社 売上収益	30,160	28,411	+1,749	+6.2%
たばこ事業	27,700	25,909	+1,791	+6.9%
自社たばこ製品売上収益	26,350	24,786	+1,564	+6.3%
医薬事業	885	949	-64	-6.7%
加工食品事業	1,560	1,539	+21	+1.4%
その他	15	14	+1	+4.3%
全社 営業利益	6,480	6,724	-244	-3.6%
たばこ事業	6,790	6,771	+19	+0.3%
医薬事業	40	174	-134	-77.0%
加工食品事業	70	77	-7	-9.0%
その他/消去	-420	-298	-122	-
全社 調整後営業利益	6,880	7,280	-400	-5.5%
たばこ事業	7,250	7,498	-248	-3.3%
医薬事業	40	174	-134	-77.0%
加工食品事業	70	68	+2	+2.2%
その他/消去	-480	-460	-20	-

2024年度 見込
(2024/2/13公表)

4. FCF (億円)

	2024 見込	2023 実績	増減
FCF	3,600	4,437	-837

5. 資本的支出 (億円)

	2024 見込	2023 実績	増減
資本的支出	1,540	1,254	+286
たばこ事業	1,340	1,051	+289
医薬事業	90	73	+17
加工食品事業	100	58	+42
その他/消去	10	71	-61

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2024年の総販売数量：対前年で0.5%~1.0%程度の減少（2023年の総販売数量は5,401億本）
- ・ 2024年のGFB販売数量：対前年で同水準~0.5%程度の増加（2023年のGFB販売数量は3,898億本）

<為替前提レート>

	2024 見込	2023 実績	増減	増減率
100円/USD	0.69	0.71	-0.02	3.0%高
100円/RUB	63.45	60.44	+3.01	4.7%安
100円/GBP	0.54	0.57	-0.03	6.2%高
100円/EUR	0.63	0.66	-0.03	4.6%高
100円/CHF	0.59	0.64	-0.05	8.6%高
100円/TWD	21.40	22.18	-0.78	3.7%高
100円/PHP	38.60	39.63	-1.03	2.7%高

たばこ事業データ

1. サマリー

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,302	1,392	1,413	1,295	5,401	億本
(前年同期比)	+1.3%	+3.7%	+1.5%	+3.4%	+2.4%	
Combustibles販売数量	1,282	1,370	1,390	1,271	5,313	億本
(前年同期比)	+1.2%	+3.7%	+1.2%	+3.1%	+2.3%	
GFB販売数量	910	1,015	1,030	943	3,898	億本
(前年同期比)	+4.2%	+10.5%	+7.7%	+7.7%	+7.6%	
RRP販売数量	20	21	23	24	88	億本
(前年同期比)	+3.0%	+4.7%	+17.1%	+23.2%	+11.8%	
自社たばこ製品売上収益	5,791	6,381	6,741	5,873	24,786	億円
(前年同期比)	+15.3%	+5.8%	+2.8%	+5.9%	+7.1%	
	(+6.3%)*	(+7.3%)*	(+4.7%)*	(+7.4%)*	(+6.4%)*	
RRP関連売上収益	203	192	227	195	816	億円
(前年同期比)	+6.4%	-4.4%	+15.0%	+17.8%	+8.3%	
調整後営業利益	2,251	2,250	2,267	729	7,498	億円
(前年同期比)	+14.1%	-1.2%	-0.7%	-27.5%	-0.6%	
	(+4.6%)*	(+3.2%)*	(+7.9%)*	(-1.0%)*	(+4.4%)*	

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	5,020	6,032	6,554	5,546	23,152
数量差	-5	+56	-78	+55	+28
単価差/Mix	+321	+381	+384	+356	+1,443
2023為替一定	5,336	6,470	6,861	5,957	24,624
FX	+455	-89	-120	-83	+163
2023	5,791	6,381	6,741	5,873	24,786

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,973	2,278	2,283	1,005	7,540
数量差	-30	-64	-102	-110	-306
単価差/Mix	+324	+335	+354	+344	+1,357
その他	-203	-197	-72	-245	-716
2023為替一定	2,065	2,352	2,463	995	7,875
FX	+186	-101	-196	-266	-377
2023	2,251	2,250	2,267	729	7,498

たばこ事業データ

4. クラスター別販売及び財務実績（前年同期比）

販売数量

(億本)

Asia	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4		YTD	
総販売数量	321	+2.1%	314	-1.1%	326	-0.3%	317	+0.6%	1,278	+0.3%
GFB販売数量	204	+9.1%	205	+6.7%	214	+4.7%	208	+4.9%	831	+6.3%
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4		YTD	
総販売数量	261	-5.2%	274	-3.3%	270	-4.1%	233	-6.6%	1,038	-4.7%
GFB販売数量	183	-2.1%	194	+0.1%	192	+0.9%	164	-4.9%	734	-1.4%
EMA	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4		YTD	
総販売数量	720	+3.4%	804	+8.4%	817	+4.2%	745	+8.3%	3,085	+6.0%
GFB販売数量	523	+4.7%	615	+15.7%	624	+11.2%	571	+13.2%	2,333	+11.2%

財務

(億円)

Asia	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4		YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,962	+1.7%	1,964	-5.3%	2,065	-1.1%	1,979	+1.2%	7,969	-1.0%
		(-1.0%)*		(-5.4%)*		(-1.3%)*		(-0.3%)*		(-2.1%)*
調整後営業利益	758	+0.2%	693	-14.2%	677	-8.9%	330	-10.2%	2,458	-8.1%
		(+0.5%)*		(-14.1%)*		(-7.6%)*		(-3.6%)*		(-6.7%)*
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4		YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,405	+12.2%	1,625	+13.9%	1,646	+13.1%	1,357	+8.2%	6,033	+12.0%
		(+4.7%)*		(+6.2%)*		(+1.2%)*		(-2.1%)*		(+2.5%)*
調整後営業利益	647	+5.8%	731	+9.1%	721	+10.9%	215	-17.8%	2,314	+5.5%
		(+3.3%)*		(+4.6%)*		(+1.7%)*		(-26.9%)*		(-0.4%)*
EMA	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4		YTD	
自社たばこ製品売上収益	2,424	+31.8%	2,792	+10.4%	3,030	+0.6%	2,538	+8.7%	10,785	+11.0%
		(+15.1%)*		(+18.2%)*		(+10.5%)*		(+19.0%)*		(+15.4%)*
調整後営業利益	846	+40.0%	826	+3.2%	869	-2.4%	185	-51.1%	2,725	+2.0%
		(+11.3%)*		(+19.6%)*		(+25.3%)*		(+19.4%)*		(+19.6%)*

*為替一定ベース

たばこ事業データ

5. クラスター別自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

Asia		Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
	2022	1,929	2,075	2,089	1,956	8,049
	数量差	+44	+2	-24	+1	+24
	単価差/Mix	-64	-114	-3	-7	-189
	2023為替一定	1,909	1,963	2,061	1,949	7,883
	FX	+52	+1	+3	+29	+86
	2023	1,962	1,964	2,065	1,979	7,969
Western Europe		Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
	2022	1,252	1,427	1,455	1,254	5,388
	数量差	-86	-94	-111	-118	-409
	単価差/Mix	+145	+182	+129	+91	+546
	2023為替一定	1,311	1,515	1,473	1,227	5,525
	FX	+94	+110	+174	+129	+507
	2023	1,405	1,625	1,646	1,357	6,033
EMA		Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
	2022	1,839	2,530	3,010	2,336	9,715
	数量差	+36	+148	+57	+172	+413
	単価差/Mix	+241	+314	+259	+273	+1,086
	2023為替一定	2,116	2,992	3,327	2,780	11,215
	FX	+308	-200	-297	-242	-431
	2023	2,424	2,792	3,030	2,538	10,785

6. クラスター別調整後営業利益実績 要因

(億円)

Asia		Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
	2022	757	807	743	368	2,675
	数量差	+37	-60	-15	-82	-120
	単価差/Mix	-62	-108	-7	+8	-169
	その他	+29	+54	-35	+61	+109
	2023為替一定	761	694	686	354	2,495
	FX	-2	-1	-10	-24	-37
	2023	758	693	677	330	2,458
Western Europe		Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
	2022	612	670	650	261	2,193
	数量差	-99	-69	-107	-101	-376
	単価差/Mix	+160	+150	+122	+78	+510
	その他	-41	-50	-4	-47	-142
	2023為替一定	632	701	661	191	2,185
	FX	+15	+30	+60	+24	+129
	2023	647	731	721	215	2,314
EMA		Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
	2022	604	800	890	377	2,671
	数量差	+32	+64	+20	+73	+190
	単価差/Mix	+227	+293	+238	+258	+1,016
	その他	-191	-200	-34	-259	-683
	2023為替一定	672	957	1,115	450	3,194
	FX	+173	-131	-247	-266	-470
	2023	846	826	869	185	2,725

たばこ事業データ

7. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	462 +3.2%	528 +11.8%	530 +9.1%	484 +7.9%	2,003 +8.1%
Camel	232 +15.1%	256 +21.3%	272 +18.1%	246 +15.3%	1,007 +17.5%
MEVIUS	108 -0.4%	113 -1.1%	114 -1.9%	105 -2.9%	440 -1.6%
LD	108 -6.8%	118 -2.4%	114 -7.8%	108 +2.6%	448 -3.8%

8. 実績為替レート (前年同期比)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.76 13.8%高	0.73 5.3%高	0.69 3.7%高	0.67 4.1%高	0.71 6.9%高
100JPY/RUB	54.96 34.2%高	58.98 12.9%安	65.08 33.9%安	62.76 29.7%安	60.44 12.2%安
100JPY/GBP	0.62 3.0%高	0.58 5.4%高	0.55 12.4%高	0.55 10.8%高	0.57 7.7%高
100JPY/EUR	0.70 8.8%高	0.67 8.2%高	0.64 12.9%高	0.63 10.4%高	0.66 10.0%高
100JPY/CHF	0.70 13.6%高	0.65 13.7%高	0.61 14.3%高	0.60 13.7%高	0.64 13.8%高
100JPY/TWD	22.96 4.7%高	22.33 1.5%高	21.90 0.3%高	21.54 3.0%高	22.18 2.4%高
100JPY/TRY	*	*	*	*	*
100JPY/PHP	41.43 6.9%高	40.48 0.2%高	38.69 5.4%高	38 7.0%高	39.63 4.9%高

*現地通貨vs 円増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年12月末日レートを適用。

(100円/TRY：20.75、参考100円/USD：0.71)

たばこ事業データ

9. Key markets

出典：市場シェアは、JT グループ内部データ等。市場シェアは 2023 年 1 月から 12 月までの平均ベース。

シェアは、combustibles及びheated tobacco products (HTP) のたばこ総需要に基づいて算出。

日本

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		151	161	165	160	637
		+4.5%	+2.1%	+0.6%	-1.5%	+1.3%
Combustibles販売数量		134	143	145	140	563
		+2.6%	+0.3%	-1.8%	-4.6%	-1.0%
RRP販売数量		17	18	19	20	74
		+22.4%	+19.1%	+22.6%	+28.3%	+23.2%
HTS販売数量		12	13	15	16	55
		+51.8%	+41.8%	+46.5%	+51.4%	+47.8%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		42.7%	42.8%	43.1%	42.5%	42.8%	+0.3ppt
Combustibles SoM		38.0%	38.1%	38.0%	37.2%	37.8%	-0.6ppt
GFB (SoM)		26.5%	26.6%	26.6%	26.0%	26.4%	+0.1ppt
Winston (SoM)		3.9%	3.8%	3.8%	3.5%	3.7%	-0.6ppt
MEVIUS (SoM)		16.8%	16.7%	16.4%	16.2%	16.5%	-1.0ppt
Seven Stars (SoM)		4.7%	4.7%	4.7%	4.6%	4.7%	-0.2ppt
Camel (SoM)		5.9%	6.0%	6.4%	6.2%	6.1%	+1.7ppt
RRP SoM*		4.8%	4.7%	5.1%	5.3%	5.0%	+0.9ppt
HTS SoS		9.4%	9.6%	10.7%	10.9%	10.2%	+2.3ppt
Total SoV		42.8%	42.9%	43.2%	42.7%	42.9%	-0.1ppt

*RRP SoMは、heated tobacco sticks (HTS) 及び infused tobacco capsules (Infused) の市場シェア

フィリピン*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		69	54	59	60	241
		+0.0%	-10.0%	-6.0%	-3.2%	-4.7%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		40.7%	42.4%	43.2%	43.6%	42.4%	+3.9ppt
GFB (SoM)		18.5%	20.9%	21.9%	23.4%	21.1%	+6.2ppt
Winston (SoM)		11.4%	11.8%	11.7%	11.9%	11.7%	+0.1ppt
Camel (SoM)		7.1%	9.0%	10.2%	11.4%	9.4%	+6.1ppt
Total SoV		38.0%	39.5%	40.6%	41.5%	39.9%	+3.3ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

台湾*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量		35	34	35	35	140
		-1.7%	-3.6%	-5.6%	-2.4%	-3.4%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		50.0%	50.2%	50.5%	50.5%	50.3%	+1.4ppt
GFB (SoM)		40.8%	41.0%	41.2%	41.2%	41.1%	+0.9ppt
Winston (SoM)		14.1%	14.4%	14.6%	14.7%	14.5%	+0.5ppt
LD (SoM)		7.7%	7.8%	7.9%	7.7%	7.8%	+0.3ppt
MEVIUS (SoM)		18.9%	18.8%	18.7%	18.8%	18.8%	+0.0ppt
Total SoV		54.0%	54.2%	54.1%	54.2%	54.1%	+1.0ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

たばこ事業データ

イタリア

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		48	48	50	41	187
		+1.3%	+1.9%	+1.2%	+2.0%	+1.6%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		23.1%	23.0%	23.6%	23.4%	23.2%	+0.2ppt
GFB (SoM)		19.4%	19.1%	19.8%	19.5%	19.4%	+0.2ppt
Winston (SoM)		12.7%	12.3%	12.9%	13.0%	12.7%	+0.4ppt
Camel (SoM)		6.6%	6.8%	6.8%	6.6%	6.7%	-0.2ppt
Total SoV		23.0%	22.8%	23.3%	23.1%	23.0%	+0.2ppt

スペイン

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		37	41	37	29	144
		-6.2%	-4.6%	+5.1%	-15.0%	-5.0%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		27.9%	28.1%	27.7%	27.9%	27.9%	-0.1ppt
GFB (SoM)		25.8%	25.3%	25.4%	25.7%	25.5%	-0.1ppt
Winston (SoM)		14.7%	14.3%	14.0%	14.5%	14.4%	+0.0ppt
Camel (SoM)		11.0%	11.0%	11.4%	11.2%	11.2%	-0.2ppt
Total SoV		27.7%	28.0%	27.5%	27.7%	27.7%	+0.0ppt

英国

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		40	39	38	35	152
		-17.1%	-18.2%	-22.1%	-17.0%	-18.7%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		44.3%	43.5%	43.5%	43.6%	43.7%	-0.9ppt
GFB (SoM)		0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	-0.0ppt
Amber Leaf (SoM)		10.4%	10.0%	9.9%	9.7%	10.0%	-1.0ppt
Sterling (SoM)		12.9%	12.2%	11.7%	11.6%	12.1%	-1.3ppt
Benson & Hedges (SoM)		11.2%	11.4%	11.8%	11.9%	11.5%	+0.8ppt
Total SoV		45.0%	44.6%	44.3%	44.3%	44.5%	-0.8ppt

たばこ事業データ

ルーマニア

Volume evolution

(億本)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	17	19	21	18	76
	+5.7%	+4.1%	+2.7%	+6.6%	+4.6%

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	27.8%	27.6%	27.5%	26.8%	27.4%	-0.1ppt
GFB (SoM)	17.6%	17.7%	17.9%	17.7%	17.7%	+1.8ppt
Winston (SoM)	12.3%	12.0%	11.8%	11.3%	11.8%	-1.7ppt
Camel (SoM)	5.0%	5.6%	6.1%	6.3%	5.8%	+3.9ppt
Total SoV	28.4%	28.3%	28.2%	27.5%	28.1%	-0.2ppt

ロシア

Volume evolution

(億本)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	176	200	210	187	773
	-4.5%	+2.4%	-4.0%	+10.5%	+0.7%

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	36.5%	37.4%	37.7%	37.8%	37.4%	+0.8ppt
GFB (SoM)	27.7%	29.3%	30.1%	30.4%	29.4%	+2.1ppt
Winston (SoM)	11.8%	12.9%	13.4%	13.5%	12.9%	+1.1ppt
Camel (SoM)	8.2%	8.5%	8.9%	9.1%	8.7%	+0.9ppt
LD (SoM)	7.5%	7.8%	7.8%	7.7%	7.7%	+0.1ppt
Total SoV	37.7%	38.6%	38.8%	39.0%	38.6%	+1.0ppt

トルコ*

Volume evolution

(億本)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	72	108	94	90	364
	+7.7%	+23.1%	+14.1%	+5.0%	+12.8%

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	27.2%	27.1%	26.9%	26.6%	26.9%	-0.9ppt
GFB (SoM)	25.0%	24.9%	24.6%	24.3%	24.7%	-0.7ppt
Winston (SoM)	17.2%	17.2%	17.2%	17.0%	17.1%	+0.1ppt
Camel (SoM)	5.7%	5.5%	5.4%	5.2%	5.4%	-0.7ppt
LD (SoM)	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	-0.2ppt
Total SoV	26.5%	26.3%	26.3%	26.1%	26.3%	-0.8ppt

*SoM及びSoVは、RMCのみの市場シェア

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2024 年 2 月 13 日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (国内)	自社品	
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び 血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase2 (海外)	自社品	
JTE-061 (tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体 (AhR) を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	申請中 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			申請中 (国内)		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase3 (国内)		
JTC-064	神経変性疾患 /経口	PDHK阻害	ビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化 し、代謝異常を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTV-161	肺動脈性肺高血圧症 /経口	Pim-1阻害	Pim-1を阻害し、肺血管細胞の異常増殖 を抑制する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-162	自己炎症・自己免疫疾患/ 経口	NLRP3阻害	NLRP3インフラマソームの活性化を抑制 し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (海外)	自社品	

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時 (2023年10月31日) からの変更点

- ・ JTT-861 (慢性心不全/経口) : 海外Phase2開始
- ・ 抗ICOS抗体 : AstraZeneca社とのライセンス契約の解約

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目（収益及び費用）＊ ＊調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±リストラチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス／関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ（Ready-Made-Cigarettes）
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる
Heated tobacco products (HTP) ／加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペイパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を愉しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック＝RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor／電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド（液体）を電気加熱させ、発生するペイパー（蒸気）を愉しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品（日本では嗅ぎたばこに分類）で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは Snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ＝RMC1 本として換算

GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の4ブランドが含まれる
総販売数量	水たばこ／製造受託／RRP デバイス及び関連アクセサリを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB（Global Flagship Brand）に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の Combustibles 及び Snus 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMC として換算）。デバイス／関連アクセサリ等 は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス／関連アクセサリ等は含まない
売上シェア（SoV）	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要／総需要	市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計）
Combustibles 総需要	市場全体における Combustibles の本数ベースの市場規模（自社推計）
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース（RMC として換算）の市場規模（自社推計）
クラスター	<p>JT グループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を3地域（Asia, Western Europe, EMA）に区分けした。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない</p> <ul style="list-style-type: none"> Asia：日本を含むアジア全域 Western Europe (WE)：西欧地域 EMA：東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail (GTR)	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金＋社債
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	<p>営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー ただし以下を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費／利息及び配当金の受取額とその税額影響／リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響／その他 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出／投資の売却及び償還による収入／定期預金の預入による支出／定期預金の払出による収入／その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com
メディアの皆様はこちら：jt-koho@jt.com